NIE実践報告

1．タイトル：新聞に親しみ、自分の考えを豊かに表現できる生徒の育成

2．学校名

宮崎県西都市立三納中学校

3．実践者名（代表者名）

岩倉　徳生

4．学年

3年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科・読むこと・２３名

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事に見出しを付けよう～「何がどうなった」を表現する

7．目標(狙い)

○　記事の見出しを考え，見出しの特徴をとらえることができる。（読むこと）

8．評価の視点

○　新聞記事の内容を理解し，それに対する自分の考えを持つことができているか。
○　新聞記事の内容をとらえ，文章を要約することができているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

○ 見出しを空白にした記事を読み，見出しを考え，見出しの特徴をとらえる。（全１時間）

10. 単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1　前時の学習を振り返り，本時の学習について考える。
(1)　アンケート結果について知る。（生徒に尋ねた問いの結果について知らせる。）
(2)　見出し・リード文・本文の構成を確かめる。（新聞の紙面構成について振り返らせ，本時の学習の見通しをもたせる。）
2　学習課題を設定する。「見出しの役割について考えよう。」
3　新聞の見出しを考える。
(1)　新聞を読んで気に入った見出しを書き出す。（見出しを書き出すことによって，単なる題名ではなく結論や結果まで分かるように書いてあることに気付かせる。）
(2)　見出しを空白にした記事を読み，見出しを考える。（※必要に応じて相談させる。※生徒の見出しを書き出す。※助詞等の省略に気付かせる。）
(3)　実際の見出しと比較し，見出しの特徴について考える。
4　本時の学習を振り返る。（本時の学習を振り返らせ，次時の学習への意欲を喚起する。）

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

○　新聞の見出しは、究極の要約であることを知るとともに、新聞記事に自分で見出しをつけることの楽しさと難しさを味わうことができたようである。

12. 成果と課題

（１）成果
○　日常的に新聞を活用することにより、生徒にとって文章を書くことへの抵抗がなくなってきた。

（２）課題
○　書かれた文章の論理の展開の仕方を学び、メディアを批判的に読み解く力を育成すること。